

当社子会社の住江奈良株式会社による DOP 漏出事故について

謹告

日頃は格別のご厚情を頂戴し誠に有難うございます。

さて、当社の子会社である住江奈良株式会社において、2010年1月25日午前7時56分、事業所北側側溝より奈良県生駒郡安堵町を流れる岡崎川へ、フタル酸ビス(2-エチルヘキシル(略称 DOP、以下 DOP))が漏出する事故が発生いたしました。当事業所は即刻現場確認をした上、奈良県生駒郡安堵町および奈良県に通報すると同時に、貯蔵タンクのパルブを閉鎖し、配管内の DOP の抜き取り作業を行いました。

また、当事業所の DOP の漏出箇所周辺にオイル吸着剤を敷設し、岡崎川の下流部にて浮遊物の回収を実施致しました。岡崎川は大和川へ繋がっており、当時両河川の境界で工事中だった国土交通省近畿地方整備局大和川河川事務所でも浮遊物が発見され、当事業所にご連絡頂きましたことから、岡崎川の出口水門付近での大和川への流出防止のためのオイルフェンス設営とオイル吸着シートの敷設にご協力を頂きました。

なお、DOP は水にほとんど溶解せず、水生生物や魚類などへの影響はほとんどないものと考えられており、両河川にてこのような被害は確認されておられません。

漏出の原因は、配管の腐食により直径数ミリ程度の穴があき、そこから漏出したものです。既に当事業所は貯蔵タンクから繋がっていた当配管を閉じ、別系統の配管への切替えによって DOP の漏出を防止し、奈良県へ報告書を提出しております。漏出周辺の改善復帰については現在対策を進めております。

今回の漏出事故を真摯に受け止め、今後このような事故のないよう、事業所内に対策チームを発足し、奈良県および関係各署のご協力のもと、防止対策を実施してまいります。

-

近隣住民の皆様ならびに関係各署の皆様には大変ご迷惑とご心配をおかけ致しましたことを深くお詫び申し上げます。今後は再発防止に万全を期する所存でございますので、何とぞご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

2010年2月4日

住江織物株式会社

(お問い合わせ)

住江織物株式会社

経営統括室

TEL06-6251-6803